

すべてのこどもに適切な小児医療と快適な闘病生活を

特定非営利活動法人 (NPO) こども医療ネットワーク



健康相談会 in 笠利 報告書

平成21年3月15日 (日)

14:00-17:00 ふれあいの郷



参加者：

鹿児島県立大島病院小児科 吉川英樹
鹿児島県立大島病院小児科 今村真理

総評：平成20年3月の奄美市名瀬でのこども相談会以来3か月ぶりの開催となった。奄美市名瀬は奄美大島の中心に位置しており、小児科勤務医4人、開業医2人が診療を行っている。一方今回初めての開催地となる笠利は奄美大島の北部に位置し小児科医不在の地域である。

奄美市名瀬まで車で1時間、救急車でも30分を要する。

今回は事前に地域の方々から講演内容のリクエストがあった。

1番目が「急な発熱時の対処法」、2番目が「頭部外傷時の対処法」であり、小児科医不在地域ならではの講演要望だと感じた。

相談会参加者は保護者、保健師、保育園の先生など16人と前回の名瀬での参加者を若干上回った。

講演会では吉川が地域の方々のリクエストに沿った内容、また予防接種の話題においては特に「Hibワクチン」の重要性を話した。「Hibワクチン」の名前を知っている参加者は1人もおらず、啓蒙活動の必要性を再認識した。

今村先生には「こどもの発達について」特に「こどもとの接し方」について講演していただいた。イラストを交えたわかりやすい内容で会場のお母さん方がうなずきながら聞き入っている姿が印象に残った。

講演会後は個別に相談が数件あり17時前、予定時間いっぱいまで相談会を終了した。

今年度は未開催地域である大和村、宇検村で本相談会を開催したいと思う。最後に本相談会開催にあたりご協力いただいた関係者皆様に深謝致します。ありがとうございました。

吉川英樹